

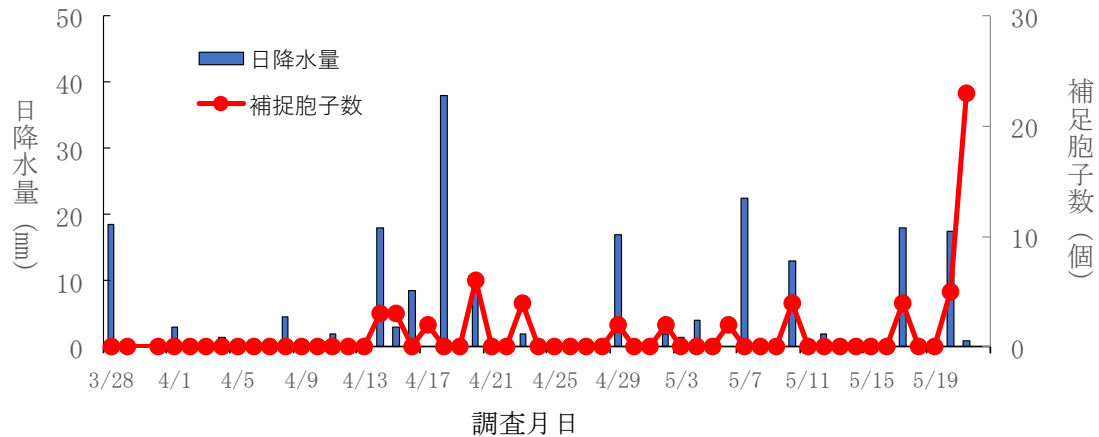
リンゴ黒星病の子のう胞子飛散状況

令和7年5月26日

秋田県果樹試験場

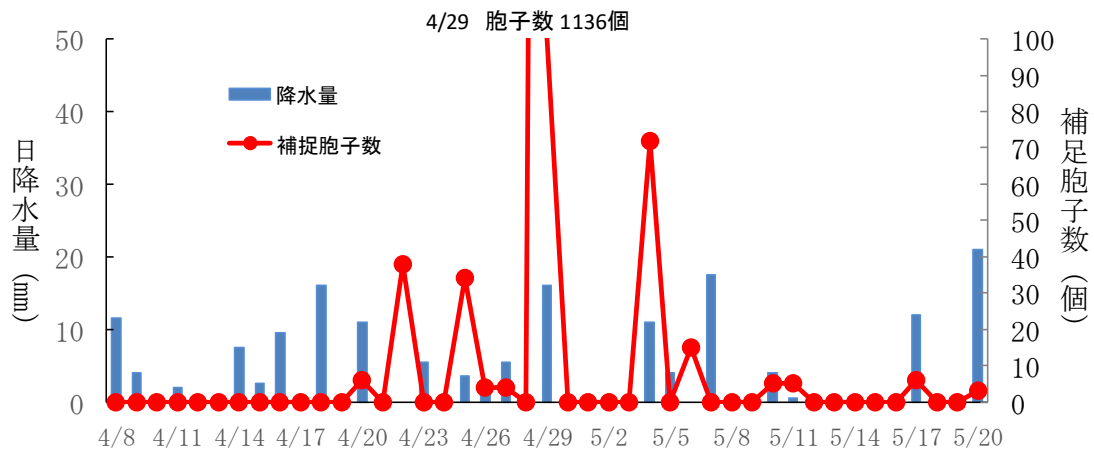
◆調査結果

1) 横手市平鹿町（果樹試験場）



リンゴ黒星病の子のう胞子の飛散消長（2025年）

2) 鹿角市花輪（かづの果樹センター）



リンゴ黒星病の子のう胞子飛散消長（2025年）

初発は鹿角市（センター内予察樹）で5月20日に確認されました。

横手市（場内予察樹）では5月23日現在、確認されていません。

落花10日後以降の薬剤散布間隔は10日程度を目安とし、雨前散布を心がけ、むら無く散布しましょう。黒星病の発病葉と発病果は伝染源となるため見つけ次第摘み取り、土中埋没などで適切に処理しましょう。